MONGOLIA | POWER TRANSMISSION

モンゴル国

マンダルゴビ～アルバイヘール間

220kV送電線建設事業

日本企業向け 事業紹介・参画検討資料



参考写真：モンゴルの送電設備［9］。本事業の現場写真ではありません。

紹介対象区間

約95km

全体計画：約287km／二回線

想定契約金額

約25億700万円

570億MNT／約1,585.27万米ドル

提示された必要資金

約8億8,500万円

560万米ドル／具体的条件は要確認

モンゴル国商工会議所 名古屋支部

https://mncci-nagoya.com/

2026年10月8日

事業紹介のポイント

マンダルゴビ～アルバイヘール間

日本企業の参画に向けた
入札参加資格・事業概要

約287km／二回線／全3工区

紹介対象：約95km
設計確認・更新および建設工事



参考写真：モンゴルの送電設備（Erdenet Mining Corporation）
本事業の建設現場・完成設備の写真ではありません。

作成：モンゴル国商工会議所 名古屋支部
2026年10月8日

提供された入札資料・事業情報と、世界銀行等の公開資料を区別して整理した参考資料です。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

1．事業概要・世界銀行事業との関係

項目	内容
発注機関	モンゴル国エネルギー省
対象設備	約287km・220kV二回線架空送電線
工事内容	設計確認・更新、送電線建設工事
工期／欠陥通知期間	24か月／36か月（提供資料）
選定方式	事前選定（Initial Selection／提供資料）
適用規則	世界銀行IPF調達規則（2025年2月版／提供資料）

Fourth Energy Sector Project

世界銀行は2025年10月22日に承認を公表。中央エネルギー系統の信頼性向上と再生可能エネルギーの統合を支援する事業です。［1］

P509161

事業全体のIBRD融資額

7,800万米ドル（約123億3,300万円）

関連変電所・110kV接続線も整備対象。上記融資額は95km区間単独の金額ではありません。

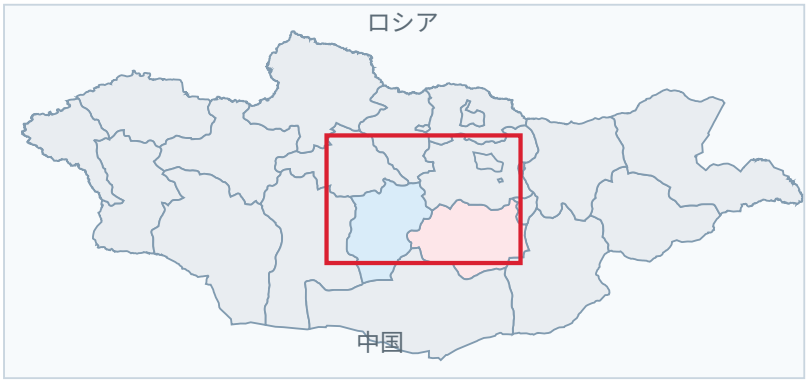
工区：Lot 1 鉄塔1〜288／Lot 2 鉄塔289〜580／Lot 3 鉄塔581〜868（提供資料）

最新の募集状況・締切・落札状況は、正式な工事公告と追補で確認する必要があります。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

2．所在地図｜モンゴル全体と対象地域

モンゴル全体



赤枠の地域を右側に拡大



アルバイヘールの街並み［8］

対象地域の拡大図（行政界付き）



行政界：geoBoundaries gbOpen［11］／都市座標：GeoNames・Apple Maps［5〜7］

破線は都市間の位置関係です。実際の送電線ルート・道路・工区境界ではありません。95km区間の位置は未確定です。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

3．入札参加資格｜財務能力・施工実績

審査項目	外国企業	モンゴル国内企業
年間平均売上高（2023〜2025年）	1,100万米ドル以上 （約17億3,900万円以上）	1,100万米ドル以上 （約17億3,900万円以上）
資金調達能力・キャッシュフロー	370万米ドル以上 （約5億8,500万円以上）	370万米ドル以上 （約5億8,500万円以上）
類似工事の契約実績額	930万米ドル以上 （約14億7,000万円以上）	600万米ドル以上 （約9億4,900万円以上）
220kV以上の送電線建設実績	60km以上	30km以上

提供された入札資料の抜粋に記載された各工区の基準です。原本との照合は未実施です。

共同企業体（JV）による参加

日・モンゴル共同企業体の形成も検討対象となります。参加可否、各構成員の最低要件、代表企業の要件、実績・財務能力の合算方法は、正式な入札書類で確認してください。

財務要件：370万米ドル（約5億8,500万円）／別途必要資金：560万米ドル（約8億8,500万円）

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

4．紹介対象95km区間｜概算と未確認事項

項目	別途提供された情報
対象工事	220kV二回線架空送電線／約95km
想定単価	6億トゥグルグ/km （約16.69万米ドル／約2,638.52万円）
想定契約金額	570億トゥグルグ （約1,585.27万米ドル／約25億700万円）
必要資金として提示された金額	560万米ドル（約8億8,500万円）
想定工期	24か月（入札資料上の工期）

概算契約金額の算定

95km × 6億
＝570億トゥグルグ
約1,585.27万米ドル
約25億700万円

正式な予定価格・落札価格ではありません。

確認すべき事項
- 95km区間の正式な工区
- 対象範囲と契約相手
- 560万米ドルの具体的な性質
- 支払、保証、回収の条件

必要資金が自己資金、運転資金、融資枠、銀行保証等のどれに該当するかは確認が必要です。

参考：2025年調達計画の287km送電線全体の推定額は5,720万米ドル（約90億4,400万円）。95km概算とは対象範囲・根拠が異なります。［2］

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

5．施工・資機材｜企業が確認する詳細情報

分野	主な検討項目
設計・測量	ルート・縦断図、鉄塔座標、用地、地盤調査、設計更新の承認方法
鉄塔・基礎	鉄塔形式・数量、部材規格、防食、基礎形式、地耐力、検査基準
電線・架線	導体、架空地線、OPGW、碍子・金具、径間、弛度・張力、横断施工
設備との取合い	変電所との責任境界、保護・通信、試験、送電開始の調整
輸送・現場体制	搬入・保管、施工アクセス、現地企業、技術者、建設機械
品質・引渡し	材料・工場検査、施工記録、接地測定、完成図書、保証対応

環境・社会への対応

公開資料では鳥類と送電線の衝突、河川・湿地、騒音等への対策が検討されています。環境社会管理、安全衛生、地域調整、現場復旧の範囲と費用負担を確認します。［3］

本ページは検討項目の整理です。正式な技術仕様・数量表（BOQ）は発注者の最新資料を優先します。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

6．資金計画・日本企業の参画方法

区分	金額・根拠
事業全体の融資額	7,800万米ドル（約123億3,300万円）（世界銀行）［1］
287km送電線全体の推定額	5,720万米ドル（約90億4,400万円）（2025年調達計画）［2］
95km区間の概算額	570億トゥグルグ（約1,585.27万米ドル／約25億700万円）（別途提供情報）
入札資料の財務要件	370万米ドル／約5億8,500万円（提供資料）
別途提示された必要資金	560万米ドル／約8億8,500万円（要確認）

参画方法の検討（案）

建設会社：施工・施工管理

メーカー：鉄塔、電線、碍子等の供給

商社：調達、物流、契約・資金の調整

金融機関・投資家：条件確認後の融資等

JV：資格条件と役割分担の確認

月別資金繰りを検討：前払・出来高入金と、資材・輸送・労務支出の時期を照合。借入人、使途、通貨、期間、返済原資、担保・保証を整理します。

換算は参考額（端数四捨五入）です。取引時の為替・銀行手数料により変動します。560万米ドルの回収等の条件は未確認です。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

7．準備資料・契約条件・問い合わせ先

参加検討時の準備資料

1．会社概要・法人登記書類
2．2023〜2025年の財務諸表・監査報告書
3．銀行残高・融資枠等の証明
4．220kV以上の送電線工事実績
5．契約書・完成証明・引渡書類
6．技術者・機械・施工設備資料
7．JV構成企業・役割分担資料

契約・資金の重点確認事項

・最新の事前選定期限と参加条件
・設計、資材、施工の責任分担
・前払金、出来高払い、支払通貨
・履行保証、前払金保証
・為替、税金、輸入関税の負担
・保証期間と欠陥対応条件

正式な提出書類・証明方法は入札書類に従います。

発注機関（提供資料記載の窓口）

モンゴル国エネルギー省／Mr. Munkhbatdal P.／政策・計画担当部門
Government Building XIV, Room 213, Chinggis Avenue, Khan-Uul District, Ulaanbaatar
電話：+976-51263094 問い合わせ時間：9:00〜17:00（最新窓口は照会時に確認）

日本国内：モンゴル国商工会議所 名古屋支部｜名古屋市西区栄生1-31-10｜info@mncci-nagoya.com
ホームページ：https://mncci-nagoya.com/

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］

8. 確認状況・出典・写真について

確認済み情報と提供情報の区別

公開資料では287km・220kV二回線計画、世界銀行事業との関係、調達識別番号を確認。資格基準、鉄塔番号、95km区間、570億トゥグルグ（約1,585.27万米ドル／約25億700万円）、560万米ドル、欠陥通知期間36か月は提供情報に基づき、原本との照合は未実施です。

2026年9月7日付の施工監理募集（期限：10月2日）は建設工事入札とは別案件です。監理業務の期間・欠陥対応支援期間を、工事契約の条件へ読み替えることはできません。［4］

［1］世界銀行：事業承認公表（2025年10月22日）

［2］世界銀行：調達計画（2025年10月9日付）

［3］世界銀行：生物多様性関連公開文書

［4］エネルギー省：施工監理募集（2026年9月7日）

［5］GeoNames：Mandalgovi（座標）

［6］Apple Maps：Arvaikheer（座標）

［7］Apple Maps：Ulaanbaatar（座標）

［8］ウブルハンガイ県政府：アルバイヘール写真

［9］Erdenet Mining Corporation：送電設備参考写真

［10］Chinggis Khaan Bank：2026年10月8日の為替掲載

［11］行政界：geoBoundaries gbOpen／MNG ADM1

換算は銀行掲載のMongol Bank欄を使用。USD/JPY＝3,595.60÷22.74≒158.117854円。計算には丸め前の値を使用。
写真は地域・設備の紹介用。正式な参加判断には最新公告・技術仕様・契約条件の原本を優先してください。

概算換算：1USD＝3,595.60MNT／1JPY＝22.74MNT（2026年10月8日、銀行掲載のMongol Bank欄）［10］